

学校給食について

学校給食のうつりかわり



明治22年
おにぎり 塩鮭 菜の漬物

山形県私立忠愛小学校で貧困児童を対象に実施された。



昭和27年
コッペパン ミルク（脱脂粉乳）
鯨肉の立田揚げせんキャベツ
ジャム
全国の小学校で給食が始まった。
昭和29年には学校給食法が制定された。



写真提供
独立行政法人 日本スポーツ振興センター

昭和52年
カレーライス 牛乳
塩もみ 果物 スープ
学校給食に米飯が導入されるようになった。

現在の学校給食の一例



行事食



郷土料理を知る献立



外国の食文化を知る献立

学校給食の役割

学校給食法が2008年（平成20年）に大幅に改正され、2009年に施行されました。学校給食法の改正にともない、学校給食の目標が4つから7つになり、学校給食は教育の一環として実施していくことが明確となりました。

学校給食の目標

- 1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。
- 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び共同の精神を養うこと。
- 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神ならびに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労に重んずる態度を養うこと。
- 6 わが国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

